

それいゆ

発行 稲城市総務部庶務課 女性・青少年問題担当

〒 稲城市東長沼 2111 ☎ 0423(78)2111



'94いなぎ女性フォーラム 小沢遼子さんの講演

| | | |
|-----|----------------------------|---|
| もくじ | '94いなぎ女性フォーラム | 2 |
| | 第Ⅱ期稲城市女性行動計画推進協議会が発足 | 5 |
| | 働く女性のためのフレーフレーテレフォン | 6 |
| | 女性情報〔出版・調査〕 | 7 |
| | 今年は国際家族年 | 8 |

'94いなぎ女性フォーラム

月日 一月三十日(日)
於 中央民館ホール

ひとひと
女と男

人間らしく

あなたらしく

いなぎ女性フォーラムは、一九七五年の国際婦人年をきかけに、男女共同参加社会をめざして始まった女性問題を考える市民のつどいです。
「女と男 人間らしくあなたらしく」のテーマのもと、今年是小沢遼子さんによる基調講演と四人の市民によるトーク&トークを行いました。
同時に、近代女性史の中で、それぞれの分野の草分けとなり、大きな影響を与えた平塚らいてふをはじめとする女性たちの写真パネル展を行いました。

□ オープニング
ミニ・コンサート



出演 * 稲城混声合唱団

「今年のフォーラムは 昨年の講演者である落合恵子さんの『誰か ためでなく、自分のために、自分の人生を美させよう!』
そして、偏見と差別のない社会新しい社会を創っていかう」という呼びかけを受けて、今年も「女と男 人間らしくあなたらしく」をテーマに実施することになりました。
今日の講演とトーク&トークの市民の方々のお話には、自分自身を照らし合わせながら、ひととき耳をかたむけていただき、お楽しみください。そして、是非フォーラムの実行委員になっていただき、多くの仲間に加わってほしいです。」

□ 94いなぎ女性フォーラム実行委員長
出口蓮子さんのあいさつ

「ムを受け継いでいただければ、こんな嬉しいことはありません」というあいさつがありました。



□ 女性行政委員の紹介

21世紀は、男性も女性も共に地域や家庭、そして社会に参画していく男女共同参画社会の創造が求められています。その先駆者となつて、稲城のまちづくりに活躍されている女性委員（今回は教育委員と選挙管理委員）に、抱負や感想などを語っていただきました。

有田 かほる 教育委員

「行事や式典で学校に行くと、子どもの方は男女平等で一生懸命に工夫してやっているのに来賓の方はずらり男性ばかり。女性としての力が、どれだけ貢献できるかわからないが、男性ばかり並んでいる状況を見ると、そこに自分が並んでいるだけでもどもたちにある程度の教育になっているのではないかと、手前味噌だが今感じていることです。」と、活動の中からの感想を語っていただきました。

石黒 民子 教育委員

硬式テニスの国際審判員の体験を通して、「現実の社会の中にアジア人にたいする偏見があること。また、女性にたいする色眼鏡も厳然としてあること。それを打ち破るには、女性自身の甘えを捨て、しっかりと仕事の上でその仕事ぶりをアッピールしていくことだと実感している。」という、女性たちへのエールにつながるお話をいただきました。



有田委員（右）・石黒委員（左）

勝山 道子 選挙管理委員長

（第一回稲城市婦人の集い実行委員長）

「こうして女性の地位向上のためのつどいが継続されていることは、"のろし"をあげたものにとつては、こんな嬉しいことはない。いま選挙管理委員会委員長をつとめる中でやっぱり女は駄目とか、男でなくては・・・と言われぬように任務を全うする努力をしている。これからも稲城市は、代々女性の委員が頑張っているとされるよう希望している」というメッセージをいただきました。

□ 先駆者たちの肖像展

道を拓いた女性たち

女性たちにとっては厳しい時代であった明治・大正・昭和の時代の中で、女であることを誇りにそれぞれの道を切り拓いた女性たちの写真・パネル展が行われました。女医第一号となつた荻野吟子をはじめとして、平塚らいてう・市川房枝・与謝野晶子・樋口一葉など、私たちがよく耳にする女性たちだけでなく、今まで女性史の中にあまり登場しなかつた保井コノ（植物学者）・山下りん（聖像画家）・徳永恕（保育事業家）などの先駆者たちが紹介されました。パネルからは、今を生きる私たちに「人間らしく自分らしく」生きていくことの素晴らしさを伝えてくれるパネルでした。



協力*東京都女性情報センター

講演 演

小沢遼子さんには、ご自身の過去、現在の生き方を語っていただき、「人間らしく自分らしく生きる」ことへの話題提起をしていただきます。

↑ 小沢さんは、封建的な家庭の中で育ち、自分の個性（長所）が、女の子としては全部欠陥であるといわれて育てられてきたこと。嫁としての役割を期待された結婚生活。そして小沢さんの母親の生き方などを通して、女性が人間として生きにくかった過去の時代と、参政権も得て男女平等になったといわれながらも、差別が残っている今日状況について語られました。

↑ お話の最後で、「女性差別をなくしていくためのやり方はいろいろあると思う。こざれいなことだけいいわないで、頑張れば、今の方がずっとやりいいのではないかな。」
↑ 人と人の組み合わせは、個人によって全部違い、人間らしくという基準も、国や生きていく場によってずいぶん違う。その自分たちが目に見える関係を大事にすることで、遠くも見え、創造力も磨かれるのではないかな？
↑ 元氣よく生きたり、人のことを考えたり、仲良くしたりの回数が多いことの方が幸せだと思う。それは男も女も関係ないと思う。」と、多くの示唆を含んだお話をしてくださいました。

トーク&トーク

「女だから」「男だから」という性にとらわれず、自分らしい生き方をしていくとは？
そんな充実感で毎日を過ごすためには、何が大切なのか？

市民四人の方（中田展子さん 坂浜在住 大学生）・（中溝朋子さん 平尾在住 大学院生）・（東谷幸政さん 大丸在住 ソーシャルワーカー）・（小倉修さん 矢野口在住 出版社経営）に登壇していただき、あなたらしく、のテーマを深めました。
トークのコーディネーターは、小沢遼子さん
↑ お願いし、本音にせまる名司会をしていただきました。



フォーラムアンケートから
「小沢遼子さんの講演をきいて」

- * おもしろかったです。たくさんの道があるということ。各々のやり方でやれば良いということ。参考になり、元気の素をいただきました。（30代女性）
- * 今日のテーマは、長い間私の中でくすぶっていた問題だっただけに、とても素晴らしい仲間に出会えたような時間が過ごせました。これからの私の人生が、明るく見通せるようになりたいました。（40代女性）
- * テレビと違う側面を知ることができファンになった。歯に衣を着せない話し方がよい。明日から少し変わろうと思う。（50代男性）
- * 50歳になり、日々折々に感じていることを他の方から言葉でいい表してくださった。共感を覚えました。（50代女性）
- * 家族の中で女性の地位を向上させることは容易ではない。（保守的な両親に大事に育てられた夫）社会環境を替え努力が、家族の意識を早く変化させる手段と思う。（60代女性）

稲城市女性行動計画推進協議会委員名簿

| 氏名 | 住所 | 備考 |
|-------------|-------------------------|-----|
| 会長 千崎 恵子 | 平尾 3-7-5 平尾住宅55-406 | 市民 |
| 副会長 中溝 忒 | 平尾 1-59-7 | 市民 |
| 稲益 和子 | 調布市多摩川 5-3-1 材コ-#403 | 学識者 |
| 小室 輝雄 | 西多摩郡五日市 町山田 532 観 | 学識者 |
| 半田 たつ子 | 調布市西つつじ ヶ丘 2-25-32 | 学識者 |
| 宇多川 貴美子 | 平尾 1169-2 | 市民 |
| 小沢 洋一 | 百村 598-6 第2三鈴荘 205 | 市民 |
| 小俣 仁子 | 矢野口 993 | 市民 |
| 佐久間 英子 | 向陽台5-9 リベ 向陽台1-402 | 市民 |
| 東谷 幸政 | 大丸 139-4 稲城ハイコーポ 809 | 市民 |

「男女共同参加社会をめざして」を目標に女性問題解決のために策定した稲城市女性行動計画は、その計画期間を平成元年度から七年度までの七年間としています。計画期間が終了する平成七年度には、今の計画の見直しが必要です。

そこで、稲城市女性行動計画の改定に向けて、現在の計画の推進状況の中から出てきた課題や、社会状況の変化のなかで新たに出てきた課題などを明らかにしながら、女性問題を解決していくための施策見直しへの提言をいただくために、第二期稲城市女性行動計画推進協議会を発足（平成六年一月）させました。これから、二年間の任期を通じて十名の委員の方々に活動していただきます。



稲城市女性行動計画改定への提言に向けて
第二期の稲城市女性行動計画推進協議会が発足

男女共同参加社会をめざし
稲城市女性行動計画
推進協議会△公報報出口重
一九九三年三月発行

第一期稲城市女性行動計画推進協議会（会長 千崎恵子さん）では、計画の進捗状況調査結果をもとに、稲城市の女性施策の推進についての課題を、市民・学識者の立場から提案していただき、その協議活動が報告書として提出されました。

提案の中には、女性問題を解決していくための施策とは、女性に関係のあることがイコール女性問題の施策ではないことの理解と見直しが必要なこと。

また、男女共同参加社会の実現は、行政が施策を推進していただくだけでなく、市民の活動そして事業体の取り組みも不可欠であることなど、地域を構成する三者の役割も考えていく必要があること等が課題としてだされています。

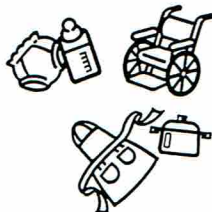
（報告書の問い合わせ（総）庶務課
女性・青少年問題担当まで）

ご存じですか

働く女性のための

21世紀テレフォン

働くあなたに育児・介護・家事の情報



「子育てと仕事を両立させたい」「いままでにお世話になった両親に快適な老後を、そして快適に仕事をしたい。でも…」
労働省は、このような悩みを持ちながら働く女性を応援する「働く女性のための就業支援事業」を(財)21世紀職業財団(注)に委託し、育児・介護・家事等の各種サービスに関する情報提供をしています。

■ 情報提供の内容は

- ① 育児関係の情報
 - ・ 保育所等施設情報・家庭内保育、ペビィシッター情報・学童保育の情報・相談窓口情報・行政窓口・その他(保育にとりまなう家事援助サービス団体)
- ② 介護関係の情報
 - ・ 各自治体福祉サービス情報・民間ホームヘルパー情報・医療機関情報・介護用品(福祉機器)情報・老人ホーム等施設情報・民間シルバーサービス産業情報・相談窓口情報・行政窓口情報

■ 提供方法は

東京就業サポート室において、二名の相談員が電話による問い合わせに対し、情報提供を行っています。
電話：〇三―三五〇一―二〇二〇

■ 提供時間は

曜日：月曜日～金曜日
時間：9時30分～16時30分

※ 個人の型はもちろん、企業の方も、社員の方も誰でも利用できます。
情報提供の料金は無料です。

注：(財)21世紀職業財団は、男女雇用機会均等法の施行を機に、昭和六十一年に労働大臣から設立許可された公益法人です。
働く女性の能力開発のための雇用管理に関する調査研究や、働く女性・女子学生に対するセミナー、シンポジウムの開催、啓発教材の刊行など様々な支援事業を実施しています。

*市内の労働相談

「賃金や労働時間などの労働条件が最初の約束と違う」「パートで働いているがいつ解雇されるか心配だ」など、様々な労働相談に専門員が無料で応じます。お気軽にどうぞ：
↑相談日：毎月第一月曜日午後一時～四時
↑相談員：東京都八王子労働事務所職員
↑問い合わせ先：市役所生活環境課生活係

*その他労働相談

東京都八王子労働事務所では、毎日労働相談に応じています。秘密を厳守し、無料です。お気軽にご利用ください。
☆日時：月曜日～金曜日 9時分～17時
土曜日 11時～12時
水曜日(夜間相談) 17時～20時
☆場所：東京都八王子労働事務所
☆電話：〇四二六―四五―六一〇

女性情報

〔出版〕

東京都女性問題協議会報告書

男女平等の社会的風土づくり

1 21世紀への旅立ち

この東京都女性問題協議会報告書は、平成三年九月に東京都知事から東京都女性問題協議会（会長 鍛冶千鶴子さん）に協議を依頼された「男女平等の社会的風土づくり」についてまとめたものを発行した資料です。

報告書は、I. 「女性問題」は女性だけの問題か。II. 生じている問題。III. 21世紀に向けて男女が共に生きる社会をめざして。の三つの柱で書かれています。

「今日、法律や制度面での男女平等の条件は整備されてきているものの、社会慣行や因習として人々の意識に根ざした女性差別や女性軽視は、依然として残っています。

男女平等社会は、「男は仕事、女は家事・育児」という伝統的・固定的な性別役割分業観の変革なしには、実現し得ません。また、女性のみならず男性の意識も変わらない限り男女平等社会の実現は望みません。」と、報告書の「はじめに」の部分で女性問題のとなえかたを述べ、読みやすい報告書です。

〔調査データ〕

男女の家庭生活

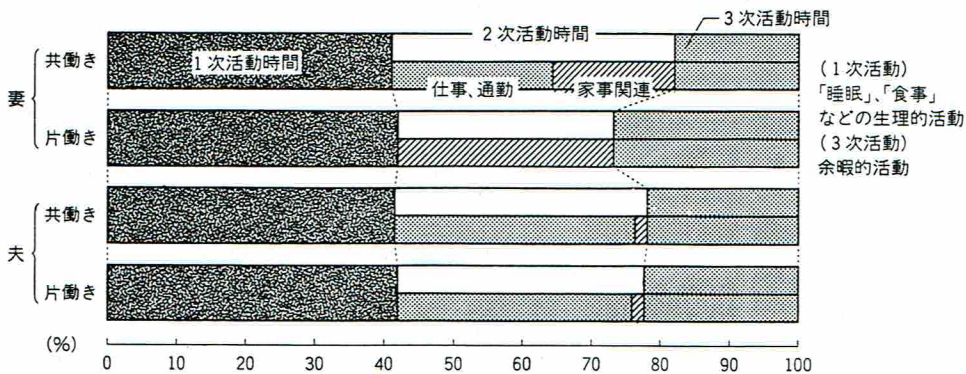
今年、国連で定められた国際家族年です。家族構成員の役割や分担について、改めて考えてみるよい機会です。

例えば、共働き世帯と片働き世帯（夫のみ有業）の夫と妻について、一日の家事関連時間を比較すると、共働きの妻（4時間17分）と、いわゆる専業主婦（7時間19分）では大きな差があるのに対し、夫の場合は、共働きの夫が24分、片働きの夫が19分と、両者の間にあまり差がなく、女性のほうが負担が重くなっています。

平成五年度の子供雇用者数は二、〇〇九万人と、雇用者全体の38.6%を女子が占めるまでに、女子労働者が増加しています。女性の生活実態が大きく変化している中で、男性の「企業戦士」としての働き方、そして社会の仕組みの見直しも重要です。

（*注 情報資料は、総務部庶務課女性・青少年問題担当にあります。活用ください）

共働き世帯と片働き世帯の生活時間比較（夫、妻）



資料出所：総務庁「社会生活基本調査」（平成3年）

注1 週全体を平均した1日の生活時間

注2 家事関連時間は「家事」、「育児」、「介護・看護」及び「買い物」の合計。

（共働きと片働きの生活時間比較（夫、妻））

△7年は国際家族年

一九八九年の国連総会で、一九九四年（平成六年）を「国際家族年」とする決議が採択され、日本をはじめ世界各国でさまざまな取り組みが計画されています。

□「国際家族年」の原則と目的は？

国連では、国際家族年の実施にあたってつぎのような原則と目的を定めています。

- 社会は、家族がコミュニティの中で家族の責任を完全に果たせるように幅広い可能な保護と援助をしていくべきであること。
- 国際家族年は多様な家族のニーズに対処すること。
- 家族内の個人の立場にかかわらず基本的人権と基本的自由の促進を求めるものでなければならぬこと。
- 政策は、家族における男女の平等の強化をめざし、家庭内の責任のより完全な分担及び雇用機会をもたらすものでなければならぬこと。
- 地方、国、国際レベルにおいてさまざまな家族問題について、一人一人の関心を高め家族の大切さや、その社会的な役割を今一度見つめ直し、家族問題に対する認識を深めてもらうこと。

□ 国際家族年スローガン

『家族からはじまる小さなデモクラシー（社会の中心に、最も小さな民主主義社会をつくる）』

これは、男性も女性も、大人も子どもも、家族みんなのそれぞれの権利や意見が個人として尊重され、そうした考え方が地域や社会全体に広まっていくことを意味しています。

□ 国際家族年シンボルマーク

家族が社会の核となる最も大切なものであって、それがハートであることをあらわしています。



ハートから右に向けての開きは、外との連続状態と未来への不確定性関係を、屋根のかすった筆使いは、家族の複雑性を象徴しています。

伝言版

♀ 94いなぎ女性フォーラムの詳細は、「94いなぎ女性フォーラム記録集」に掲載されています。お読みになりたい方は、（総務課女性・青少年問題担当までお問い合わせください。（記録集は無料です）

また、95いなぎ女性フォーラムの実行委員会を七月に発足させる予定です。六月の広報いなぎで募集いたしますので、是非ご参加ください。

♂ 稲城市婦人連絡協議会（婦連協）に入会しませんか？

稲城市婦人連絡協議会は、市内の女性活動グループのつながりを求めて組織している団体です。協議会からは、社会教育委員や公民館運営審議会委員等を送り出し、女性の声を反映する努力もしています。

小さな声を大きな声にしていくためにも是非ご入会ください。（会長宇多川貴美子 ☎ 31-3854まで）

編集後記

文字の多い紙面となってしまいました。読みやすい紙面をめざしたいと思います。お読みになった感想や、投稿をお待ちしています。また、こんな特集をしてほしいなどどしどしご意見をお寄せ下さい。

総務部庶務課女性・青少年問題担当まで